

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第6部門第3区分  
 【発行日】平成23年8月18日(2011.8.18)

【公表番号】特表2010-505166(P2010-505166A)  
 【公表日】平成22年2月18日(2010.2.18)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-007  
 【出願番号】特願2009-529689(P2009-529689)  
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/50 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 9/46 4 6 2 Z

【手続補正書】

【提出日】平成23年7月1日(2011.7.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ルール・システムにてリソース・ベースのイベントをタイプ付けする、コンピュータ実装可能な方法であって、

イベント・タイプを、前記イベント・タイプに関連するリソース特性に従って、定義するステップと、

1つ以上のどのイベント・タイプがリソースにて発生し得るかを記述するリソース定義を作成するステップと、

前記リソース定義を前記ルール・システムに保存するステップと、

データ処理システム内の特定のリソースから非同期データを受信するステップと、

前記非同期データと、前記特定のリソース用のリソース定義に関連する特定のルールとを、互いに関係付けるステップと、

前記特定のルールを前記非同期データに適用するステップと、

前記特定のリソースによる使用が認められている複数のルールから、前記特定のルールを選択するステップと、

前記複数のルールの各々を、同期データまたは非同期データのいずれかに対して適用可能なものとして定義するステップであって、前記同期データは特定のルールを求める要求を含み、前記非同期データは、受信されたデータの適用対象となる特定のルールを指定しない、前記定義するステップと、

前記ルール・システムによって受信されたデータが、同期であるか非同期であるかを判断するステップと、

前記ルール・システムによって受信された前記データは非同期であるという判断に応じて、入力として非同期データを用いるルールのみを探して前記ルール・システムを検索するステップと、

をコンピュータに実行させる、方法。

【請求項2】

前記リソース定義が、さらに、前記リソースから前記ルール・システムによってどのような特性データをプルすることができるかを記述する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ルール・システム内のルール論理が、前記特定のルールに従って前記非同期データを操作して出力を生成し、前記方法が、前記特定のルールの前記出力を前記特定のリソースへ送信するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】

前記ルール・システムが、前記データ処理システム内の少なくとも1つのリソースを管理するリソース・マネージャの一部である、請求項1に記載の方法。

【請求項5】

プロセッサと、  
前記プロセッサに接続されたデータ・バスと、  
前記データ・バスに接続されたメモリと、  
コンピュータ・プログラムと、  
を含むシステムであって、前記コンピュータ・プログラムが命令を含み、前記命令は、前記プロセッサに実行させるものであり、かつ以下のこと：

イベント・タイプを、前記イベント・タイプに関連するリソース特性に従って定義すること；

1つ以上のどのイベント・タイプがリソースにて発生し得るかを記述するリソース定義を作成すること；

前記リソース定義をルール・システムに保存すること；

データ処理システム内の特定のリソースから非同期データを受信すること；

前記非同期データと、前記特定のリソース用のリソース定義に関連する特定のルールとを、互いに関係付けること；

前記特定のルールを前記非同期データに適用すること、

前記特定のリソースによる使用が認められている複数のルールから前記特定のルールを選択すること；

前記複数のルールの各々を、同期データまたは非同期データのいずれかに対して適用可能なものとして定義することであって、前記同期データは特定のルールを求める要求を含み、前記非同期データは、受信されたデータの適用対象となる特定のルールを指定しない、前記定義すること；

前記ルール・システムによって受信されたデータが、同期であるか非同期であるかを判断すること；

前記ルール・システムによって受信された前記データは非同期であるという判断に応じて、入力として非同期データを用いるルールのみを探して前記ルール・システムを検索すること、

を行うように構成されている、システム。

【請求項6】

前記リソース定義が、さらに、前記リソースから前記ルール・システムによってどのような特性データをプルすることができるかを記述する、請求項5に記載のシステム。

【請求項7】

前記ルール・システム内のルール論理が、前記特定のルールに従って前記非同期データを操作して出力を生成し、前記命令が、さらに、前記特定のルールの前記出力を前記特定のリソースへ送信するように構成されている、請求項5に記載のシステム。

【請求項8】

前記ルール・システムが、前記データ処理システム内の少なくとも1つのリソースを管理するリソース・マネージャの一部である、請求項5に記載のシステム。

【請求項9】

コンピュータ・プログラムであって、前記コンピュータ・プログラムが、コンピュータに実行させる命令を含み、前記命令は、以下のこと：

イベント・タイプを、前記イベント・タイプに関連するリソース特性に従って定義すること；

1つ以上のどのイベント・タイプがリソースにて発生し得るかを記述するリソース定義

を作成すること；

前記リソース定義をルール・システムに保存すること；

データ処理システム内の特定のリソースから非同期データを受信すること；

前記非同期データと、前記特定のリソース用のリソース定義に関連する特定のルールとを、互いに関係付けること；

前記特定のルールを前記非同期データに適用すること、

前記特定のリソースによる使用が認められている複数のルールから前記特定のルールを選択すること；

前記複数のルールの各々を、同期データまたは非同期データのいずれかに対して適用可能なものとして定義することであって、前記同期データは特定のルールを求める要求を含み、前記非同期データは、受信されたデータの適用対象となる特定のルールを指定しない、前記定義すること；

前記ルール・システムによって受信されたデータが、同期であるか非同期であるかを判断すること；

前記ルール・システムによって受信された前記データは非同期であるという判断に応じて、入力として非同期データを用いるルールのみを探して前記ルール・システムを検索すること、

を行うように構成されている、コンピュータ・プログラム。

【請求項 10】

前記リソース定義が、さらに、前記リソースから前記ルール・システムによってどのような特性データをプルすることができるかを記述する、請求項 9 に記載のコンピュータ・プログラム。

【請求項 11】

前記ルール・システム内のルール論理が、前記特定のルールに従って前記非同期データを操作して出力を生成し、前記コンピュータに実行させる命令が、さらに、前記特定のルールの前記出力を前記特定のリソースへ送信するように構成されている、請求項 9 に記載のコンピュータ・プログラム。

【請求項 12】

前記ルール・システムが、前記データ処理システム内の少なくとも 1 つのリソースを管理するリソース・マネージャの一部である、請求項 9 に記載のコンピュータ・プログラム。

【請求項 13】

前記コンピュータ・プログラムが、リモート・サーバのコンポーネントであり、前記コンピュータに実行させる命令が、前記リモート・サーバからクライアント・コンピュータへデプロイ可能である、請求項 9 に記載のコンピュータ・プログラム。

【請求項 14】

前記コンピュータに実行させる命令が、サービス・プロバイダによって顧客へオンデマンド・ベースで提供されることが可能である、請求項 9 に記載のコンピュータ・プログラム。